

平成二十一年 寄居町成人式

1月11日に中央公民館で「成人式」が行われました。今年、町では495人が成人を迎え、式典には398人が出席しました。新たな一歩を踏み出した新成人それぞれの姿や表情、また成人式を陰で支えた「成人式運営委員会」の皆さんの活動をご紹介します。

問い合わせ／中央公民館（☎581・2662）へ。

主役は青年

寄居町の成人式は、「成人式運営委員会」により運営されています。運営委員会は、町内3中学校の卒業生（19歳・21歳）と7地域公民館長で組織され、「青年が主役の成人式」を目指しています。このような形式での成人式は、今年で3年目を迎えました。

19歳、20歳、21歳の各年代の運営委員は、県内でもめずらしく、地域公民館長の皆さんと一体となり、今年は総勢34人の委員が当日の受付やアトラクション、式典の運営に当たりました。

企画から式典まで

運営委員会は、昨年の8月から計3回委員会を開き、成人式当日に向けて、さまざまな意見を出し合い、準備を進めてきました。

楽しいと思っていたのです。できることならいつまでも子どもでいたいというあまり、生きていくことを重荷に感じ、現実から逃げ出したくなることも何度もありました。

ですが、いろいろな経験を積む中で、少しずつですが、考え方が変わってきました。中でも最近自分に大きな影響を与えたのは、たった三日間の中学校における教育現場体験でした。

そこで私は、勉強や部活、学校行事に熱心に取り組む中学生たちに触れました。先生や仲間たちと協力して、どんなことにもまじめに一生懸命取り組む姿を見て、私は胸が熱くなるような感動を覚えると同時に、罪悪感にも似た自己嫌悪に陥りました。いつしか私は、何事にもまじめに取り組むことに疲れ、多くのことを割り切つてあきらめ、自分さえ良ければいいと聞き直つて、どんどん投げやりな考え方をすることがになっていったことに、改めて気付かされたのです。三日間という短い体験ではありましたが、本当に多くのことを子どもたちから教わった気がしました。

これからは私たちは何度もつまずきくじけそうになることもあるでしょう。ですが、どうか見ていてください。きつといつか、私たちの手で輝かしい未来を手にしてみせます。私たちの夢、希望の明日をこの手につかむその日まで、心から守りたいと思えるものから決して手を放さず、たとえどんなに遅い歩みでも、未来への熱い想いと共に一歩一歩確実に前進していきます。

アトラクションで上映した、懐かしい写真のスライドは、20歳委員が中心となり作製。また、会場の入口に設けられた地区ごとの受付では、19歳・21歳委員が中心となり、新成人を迎えました。

成人の誓い

新成人を代表し、戸澤麻里乃さんと吉田奏さんが成人の誓いを発表。気持ちを新たに、大人への第一歩を踏み出しました。（内容は一部抜粋）

「まっすぐに生きる
自立した大人に……」



戸澤麻里乃さん

「一」十年間返つてみると、常に私たちのそばには支えてくれる方がたくさんいます。優しく見守ってくれた地域の方々、時には友達のよう

に、時には厳しく助言や激励をしてくださいました先生方、共に笑い、共に泣きたくさんの同じ時間を過ごしてきた友達、そして、反抗することもあったけれど、ここまで大切に育ててくれた両親、家族には本当に感謝しています。また、生まれ育ったこの寄居町で成人としての第一歩を踏み出すこと、大変幸せに思います。



吉田奏さん

「私」は大人になることをずっと恐れていた。たとえ自分の力でできることが少なくても、誰かに守られていてやるべきことだけをやって、責任や義務のない生活の方がずっと楽で

「未来へ、一歩一歩確実に……」

ことが少なくても、誰かに守られていてやるべきことだけをやって、責任や義務のない生活の方がずっと楽で



成人式を前に、運営委員リーダーの中柴晃さん（写真左から3人目）を中心に最終打合せ。



受付開始。19歳・21歳委員の皆さんが中心となり、新成人を迎えました。



地区ごとに記念撮影。記念写真は文字入れされた後、新成人に郵送されます。



休憩時間。恩師と久しぶりに再会し、記念撮影。